



2018年12月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社エナリス 証券コード：6079

CONFIDENTIAL

本資料は営業提案を目的にエナリスが作成したものです。その正確性及び完全性に関し責任を負うものではありません。
また本資料の権利はエナリスに属し、無断で複製または転送などを行わないようお願い致します。

2018年12月期 第1四半期 業績比較

	2017年 12月期 第1四半期 (前期)	2018年 12月期 第1四半期 (今期)	前期比	増減額
売上高	12,462	15,335	23.1%	2,872
売上総利益	771	803	4.2%	32
営業利益	55	△85	—	△141
経常利益	6	△104	—	△110
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	153	△219	—	△373

(百万円)

2018年12月期 第1四半期 概要

- **売上高**は、EAサービスの管理電力の増大及び小売電気事業者向け電力需給管理サービスの顧客である小売電気事業者の取扱電力量の増加等により15,335百万円（前年同期比23.1%増）計上
- **売上総利益**は、EAサービスにおいて厳しい気象状況の影響を受け、調達単価が当社想定を上回って高騰したことにより売上原価が増加し、微増となる803,548千円（前年同期比4.2%増）計上
- **営業利益**は、EAサービスにおける売上原価の増加が大きく影響したことにより、**-85百万円**計上
- **経常利益**は、**-104百万円**計上
- **親会社株主に帰属する四半期純利益**は、**-219百万円**計上

※EAサービス：エネルギーエージェントサービス

前年度末 貸借対照表 比較

	2017年 12月期末	2018年 12月期 第1四半期末	増減額
流動資産	18,168	16,657	△1,510
固定資産	7,725	8,227	501
負債	22,140	20,961	△1,179
純資産	3,753	3,923	170

(百万円)

- **流動資産**は、対前年度末より
1,510百万円 **減少**
- **固定資産**は、対前年度末より
501百万円 **増加**
- **負債**は、対前年度末より
1,179百万円 **減少**
- **純資産**は、対前年度末より
170百万円 **増加**

業界ハイライト

- 新電力のシェアは、2016年4月の電力小売全面自由化直後は約5%だったが、本年1月時点では12.4%となっている。特別高圧・高圧受電分は上昇を続けており、本年1月時点では16.2%となっている。さらに、低圧分野も一環して伸び続け、7.7%となっている。（資源エネルギー庁「平成30年1月分電力需給速報」本年4月27日公表）
- 小売電気事業者の登録数は、本年4月23日現在 469事業者（資源エネルギー庁 登録小売電気事業者一覧）

2. 部門別売上実績

部門別売上実績

		2017年 12月期 第1四半期 (売上高総利益率)	2018年 12月期 第1四半期 (売上高総利益率)	前期比	増減額
エネルギー マネジ メント 事業	小売電気事業者向け 需給管理サービス	248	344	38.6%	95
	エネルギーサービス	8,317	11,151	34.0%	2,834
	その他	8	10	27.4%	2
	計	8,573 (5.2%)	11,505 (3.1%)	34.2%	2,932
パワー マーケ ティング 事業	電力卸取引	3,867	3,811	△1.4%	△56
	電源開発	22	18	△15.4%	△3
	計	3,889 (8.5%)	3,829 (11.5%)	△1.5%	△59
合 計		12,462	15,335	23.1%	2,872

(百万円)

※エネルギーマネジメント事業内のその他にはHEMS・MEMS等を含みます。

3. 顧客別サービス区分による売上実績

顧客別サービス区分による売上実績

	2017年 12月期 第1四半期 (売上高総利益率)	2018年 12月期 第1四半期 (売上高総利益率)	前期比	増減額
法人需要家向けサービス (エネルギーエージェントサービス)	8,325 (3.2%)	11,161 (0.5%)	34.0%	2,836
新電力事業者向け サービス	4,115 (11.9%)	4,155 (17.8%)	0.9%	39
その他	22 (72.2%)	18 (66.9%)	△15.4%	△3
合 計	12,462	15,335	23.1%	2,872

(百万円)

- ※法人需要家向けサービスは、エネルギーマネジメント事業の“エネルギーサービス”と“その他”です。
- ※新電力事業者向けサービスは、エネルギーマネジメント事業の“小売電気事業者向け需給管理サービス”と
パワーマーケティング事業の“電力卸取引”です。
- ※その他は、パワーマーケティング事業の“電源開発”です。

4.エネルギーエージェントサービスの進捗

エネルギーエージェントサービスにおける管理電力

(単位：kW キロワット)



2018年12月期 通期連結業績予想（本年2月7日公表）

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
63,000	1,200	1,100	850	17円60銭

(百万円)

当第1四半期においては、例年と比べ全国的に平均気温が大幅に低くなり、当社の想定以上に市場価格が高騰し、さらに市場調達量も増加したため、当社グループの主力サービスであるエネルギーエージェンツサービスにおける電力調達コストが大幅に増大

しかしながら、

- ◎ 競争力のある契約電源からの調達が順調に進んでおり、今後、以下の2点が見込まれる
 - 市場調達比率の減少・安定安価な契約電源からの調達比率の増加による、夏場の市場高騰リスクへの対処の進展および利益の改善・安定化
 - 電力卸取引の増大による売上・利益の向上
- ◎ 営業体制の強化（人員増・販売代理店網の拡充等）やKDDI社との連携強化等により堅調な顧客獲得が、年度末に向かって売上・利益の増大に寄与



通期連結業績予想（本年2月7日公表）の変更はありません

※業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。